

南部地区地域福祉活動計画

南部地区

南町二丁目, 南町三丁目, 南町四丁目, 六供町, 六供町生川



＜福祉対策・連絡会議のようす＞



＜のびゆく子どものつとめ・ふれあいの広場＞

日常の見守りと交流の力で
お互いに支え合える南部地区

めざす地区の将来像

- ・充実した見守り体制で顔の見える関係ができる
- ・困った時に支え合い、助け合える
- ・世代を問わず住民同士が繋がることのできる

地区の情報

南部地区は前橋駅の南西部を中心に位置し、学校や公園の数に恵まれている地域です。

南部地区では地区社協の構成員（自治会長・民生委員町代表・保健推進員会長・更生保護女性会長）で福祉対策・連絡会議を年10回程度開催しており、包括支援センターや前橋市社協を交えて情報交換や事例共有を行っています。

また、全町で町社協が立ち上がり、見守りネットワーク図を作成し、有事の際に適切な機関につながるように住民間の見守りや、助け合いの体制を整えています。

地区の課題

福祉委員や地域活動参加者の減少

少子高齢化の進行に伴い、担い手や地域活動への参加者ともに減少傾向にある。

幅広い世代への対応

高齢者だけでなく、子ども等若い世代も含めた福祉課題への対応が難しい。

取り組むこと

① 地域住民による見守りと福祉対策会議における連携体制の強化

地域全体での日常的な見守り・声かけの意識向上と、福祉対策会議を活かした各関係機関との密な連携体制の強化を目指す

② 世代を超えた交流と地域参加の促進

世代間交流の推進と、地域行事への参加を通じた住民同士の顔の見える関係づくりを目指す

③ 多様な主体が関わり継続的な地域活動の促進

民生委員や自治会のOB・OG、企業や学校など、多様な主体が地域活動に参加できる仕組みづくりで活動の継続性・活性化、地域共生社会の実現を目指す